

個人コード	888888
漢字医師名	アルト花子

	施設コード	略式施設名
1	3333333	***** 医院
2	4444444	***** 病院
3		
4		
5		

論文コード	発行年月日	雑誌名	標題	抄録	疾病分類名	副作用名
200209643	200209	月刊薬事	特集 精神科領域の薬物療法 Up to Date 非定型抗精神病薬の使い方(総説)	非定型抗精神病薬とは、非定型抗精神病薬の薬理学的特徴、非定型抗精神病薬の特徴(Risperidone, Olanzapine, Quetiapine, Perospirone)、分裂病治療における非定型抗精神病薬の位置づけ。	精神分裂病	
199403536	199403	精神薬療基金研究年報	ラット脳における[3H]clozapine結合の検討	ラット大脳膜標品を用いて[3H]clozapine結合実験を行ない、脳内各部位におけるclozapineの受容体特性について検討した。[3H]clozapineは各脳部位に可逆的に結合し、その特異的結合は飽和性を示した。各種受容体拮抗薬による結合阻害実験によると、clozapine結合部位のうち約50%はムスカリン受容体に相当し、大脳前頭皮質、辺縁系ではさらに約25%がセロトニン5-HT ₂ 受容体であった。実験条件下では脳内各部位とも、アドレナリン α 1、 α 2、ヒスタミンH1、ドパミンD1、D2、D3各受容体成分は検出されなかった。今後は、残りの[3H]clozapine結合部位の薬理特性について、さらに検討していく必要がある。		
...